

法人設立より

113 years

ごあいさつ

理事長 山田 裕嗣



昭和20年代の福岡県ろうあ工芸会

福岡ろうあ福祉会は明治42年(1909年)に誕生しました。私立福岡聾啞学校を設立することから始め、聾啞工芸品製作所を継承・発展させ、養護老人ホームを設立し今日に至っています。

これまで長期にわたり多くの方々からいただきましたお力添えにあらためて感謝申し上げます。

当法人は現在三つの事業を運営しています。まず、施設入所時のサービス計画づくりやその後のモニタリング等でより良い生活をサポートする相談支援事業。次に、木工・縫製・軽作業など製品づくりの仕事をしながら暮らせる施設、工芸会ワークセンター。そして、生きがいと安らぎを感じながら生活できる施設、養護老人ホーム田尻苑。

二つの施設では、福岡県内はもとより九州・山口の各地や関東からも入所された利用者の方々が、毎日職員手造りの食事をとり、年間を通して様々な行事やクラブ活動に参加し、季節を感じながら楽しく過ごしておられます。

ここは、聴覚・言語障害者の皆様が手話を用いて元気に楽しく過ごせるコミュニティ。日々の快適な生活を手話のできる多様な専門スタッフが支えています。

これからも、時代や環境の変化に適応しながら多くの聴覚・言語障害者の方々の拠り所として発展できるよう取り組んでまいります。皆様のあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 法人沿革

明治42年	11月	社団法人福岡県盲啞教育慈善会認可
明治43年	1月	私立福岡盲啞学校開校 (福岡市因幡町1番地(福岡県立高等女学校内))
大正7年	4月	福岡市新開町2丁目に私立福岡盲啞学校移転
大正8年	7月	株式会社聾啞工芸品製作所創立
大正11年	3月	皇后陛下行啓の栄に浴す
大正13年	4月	私立福岡盲啞学校を県営に移管
大正14年	2月	株式会社聾啞工芸品製作所財界不況のため採算不能となり解散し本会引継経営
昭和18年	1月	福岡市一本木町に移転完了
昭和27年	5月	社会福祉法人福岡県ろうあ工芸会に組織変更
平成2年	5月	福岡市西区田尻に重度身体障害者授産施設 「工芸会ワークセンター」移転開設
平成4年	4月	聴覚・言語障害者養護老人ホーム田尻苑開苑
平成7年	9月	皇太子同妃殿下行啓の栄に浴す
平成21年	11月	法人創立100周年記念式典
令和3年	4月	指定特定相談支援事業所「ろうあ工芸会」開所 工芸会ワークセンター新たに短期入所開始